

## NHKの舞台好きが 集まった!?

ムーラン・ルーージュ新宿座は1931年から51年まで新宿に実在した大衆劇場。レヴューショーや軽演劇が上演され、多くのスターや作家を輩出した。このムーラン・ルーージュで、そのかわいらしさからアイドルの人気を誇ったのが明日待子だ。この明日待子を主人公にドラマを作ろうと、演出を手掛ける鈴木航が5年がかりで企画。鈴木は大河ドラマ「青天を衝け」で同じ班だった渡辺哲也に「ショーシーンがあるんだけど、どうしたらいい?」と相談

した。根っからの演劇好きで、「いつかミュージカルドラマを作りたい」と思っていた渡辺は「それなら自分も関わらせてくれ」と手を挙げ、同期の石村将太とプロデューサーを務めることになった。数あるショーを魅力的に描くため、「うたコン」や「紅白歌合戦」の演出を手掛けている気鋭のディレクター池田泰洋にも番組ジャンルの垣根を越えて参加してもらった。

# 特集ドラマ アイドル



風車の歌



ようこそ新宿

ミュージカルドラマといえば、「glee/グリー」「ハイスクール・ミュージカル」「SMASH」。今見返しても心が躍る名作だ。日本でもさまざまな試みがなされているようで、この8月には昭和の華やかなショーシーンを盛り込んだ、

特集ドラマ「アイドル」(NHK)が登場。

ムーラン・ルーージュ新宿座のエース明日待子(あした・まつこ)の青春、戦時下でのエンターテインメントの様子が描かれた。そのショーシーンの製作秘話をお届けしよう。

恋のかけひき